

# 8月会山行 十勝幌尻岳（1846m）

平成26年8月8日（金）～9日（土）

CL 藤木（晴） A班L 小山内 A班SL 安藤 酒井 谷 渡邊

B班L 沢田 A班SL 相馬 長沼 本野 穴吹

以上 参加 11名

山行時間	5：45	登山口	6：55	尾根取り付き	8：00	1284mポコ	9：30	1740m肩
	9：50	～	11：00	頂上				
	11：10	肩	12：00	1284mポコ	12：55	尾根取り付き	14：15	登山口

自宅を7時10分出発、いつもよりかなり遅い出発なので自宅朝食をとることができた。

車中で食事をするとバランスのとれた食事が出来ないのとて、助かる。

穴吹さんと黄金のローソンで待ち合わせ、小山内さん宅に車を置かせてもらい集合場所の幌別駅へ。安藤さんが急に仕事が入ったとの事で9人2台の車で7時10分幌別駅を出る。

西インターで相馬さんを乗せ、途中、昼飯など買い物をしながら11時30分千栄の道岳連日高研修所に到着して早飯を食べ一時間ほど休憩、ついでに道岳連交流会で使用する横断幕を車に乗せ出発。

日勝峠を越えいつも宿泊に利用する剣小屋に13時40分に着く。今日はここで宿泊、小屋の内部は改装したらしく小奇麗にかたづいていた。

早速、巻きストーブに火を入れ（木が生木なので燃やすのに苦労をしたが燃え始めると熱いぐらいよく燃えた）。

料理班がすぐに夕食の用意を始め肉、野菜などを切り始めた。慣れているせいか、まことに早い、あっという間に春雨のサラダ、筑前煮、すき焼き風肉料理が並べられる、これだけあれば、十分過ぎるほどの食事になる。おまけにそれぞれに持ってきたつまみと合わせてごちそうがいっぱいになった。

「これは飲むしかないしょ。」

調理したおかずはすべて平らげてしまいました。当然、お酒も見事に。



改装された剣小屋



明日は晴れますように



どれから食べよっかな～



うまいよ～



安藤さんと合流

そうそう、安藤さん仕事の都合がついたそうで一人でここまで来て合流する。明日は全員で登ることができそうです。酒がなくなり、しょうがなく20時30分消灯しました。

3時起床、残り火で火を焚き温かいうどんをたくさん食べ小屋を4時20分出発。前日の昼までの雨の予報は70%が夜には10%まで確率が下がりやはり持って生まれた晴れ何とか

登山口に5時25分着き体操を済ませ班ごとに登山開始。二か所の濡れた丸太の橋を慎重に渡りピンクテープを頼りに川沿いを一時間ほど歩き尾根のとり付き着く。

尾根道は急でおまけにあたりは見えない「辛抱、辛抱」と心の中で呟きながら高度を上げていく。

やっと肩まで2時間半かかった。まだ、周囲は雲の中で見えない。

左に進路をとり尾根を歩くと20分ほどで頂上に、頂上に着き振り返ると雲が晴れ来た道が見えてきた左に目をやると札内岳のふもとの景色が雲の間から見え始めてきた。藤木リーダーから時間があるので今日はゆっくり休憩をとということで1時間10分ほど時間をとってくれた。嬉しいではありませんか。

食事をとりながら周りの景色を雲間から堪能。

残念ながら札内岳は見えなかったものの

それから延びる稜線が見え隠れしながら目を楽しませてくれる。

長い時間の休憩にも関わらずあっという間に時間が過ぎ下山を開始した。

急な尾根を慎重に下り、尾根が終わり朝より水量が多くなっていた川を疲れきっているであろう足を慎重に足元を確認しながら歩き丸木橋を越え終えると登ったことの充実感がだんだんわいてきた。お風呂は温泉ではない嵐山山荘で一風呂浴びに土間の昼食を食べ車に飛び乗り幌別駅には9時45分、わが家には遅い帰宅となりました。

リーダー一、及び長時間車の運転、食事の用意をされた方おかげさまで楽しい山行ができました。

ありがとうございます。

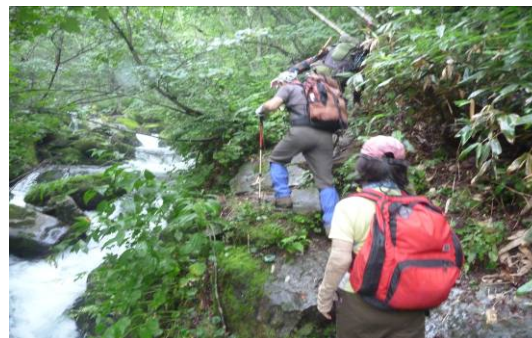
記録 渡邊



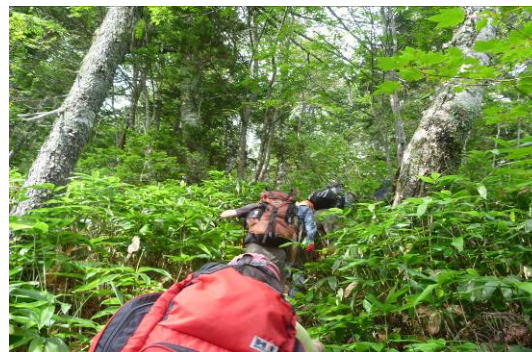
見えそうで見えない札内岳



慎重に



濡れている岩の連続



急な尾根に取り付く



先はまだ長い



山頂で